

鳴門市の学校給食についてのアンケート結果

令和3年2月

鳴門市教育委員会 教育総務課

目次

目的・調査対象・調査期間	1
アンケート結果	
1 給食の時間を楽しみにしていますか	2
2 主食(ごはん・パン)の量について	
A ごはんについて	3
B パンについて	3
3 主食(ごはん・パン)の割合について	4
4 おかずの量について	5
5 おかずの味付けについて	5
6 給食を残さず食べていますか	6
7 給食を残す人は、給食を残す理由は何ですか	7
8 給食時間の長さはどうですか	8
9 給食の献立の中で、どんなおかずが好きですか。 また、どんなおかずが苦手ですか。(各2つまで)	8
10 郷土料理・地元食材について.....	9/10
11 給食について、何か意見があれば書いてください	11
おわりに	12

○アンケートの目的

本アンケートは、実際に給食を喫食している児童生徒の考え方や意見、給食献立の嗜好や摂取状況等の実態を把握し、成長期にある児童生徒に、より安全で安心、そしておいしい学校給食の提供を行うことを目的として実施したものである。

○調査対象

鳴門市内の小学校5年生(13校386名)

中学校2年生(5校361名)

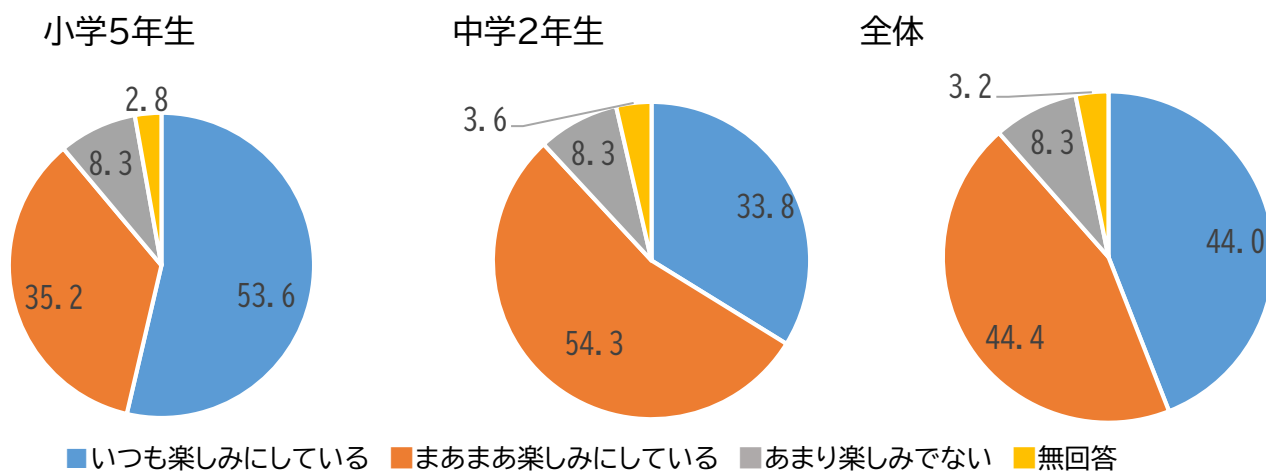
合計 18校 747名

○調査期間

令和2年12月14日 ~ 令和2年12月23日

○アンケート結果

1 給食の時間を楽しみにしていますか。

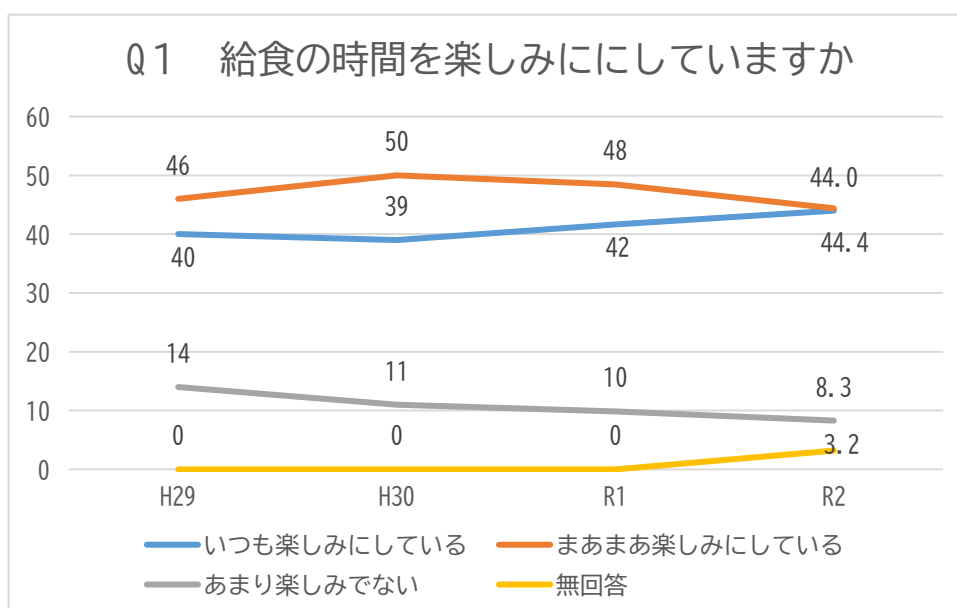


	小学5年生	中学2年生	全体
いつも楽しみにしている	207人(53.6%)	122人(33.8%)	329人(44.0%)
まあまあ楽しみにしている	136人(35.2%)	196人(54.3%)	332人(44.4%)
あまり楽しみでない	32人(8.3%)	30人(8.3%)	62人(8.3%)
無回答	11人(2.8%)	13人(3.6%)	24人(3.2%)

小学生では約89%、中学生においては約88%が給食を楽しみにしていると回答しており、全体では約88%の児童生徒が給食を楽しみにしている。

また、前回の結果と比較し、「いつも楽しみにしている」と回答している人が増加し、「あまり楽しみでない」と回答している人数が減少していることが分かる。(下表参照)

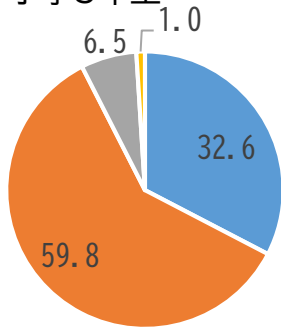
(参考)
全体



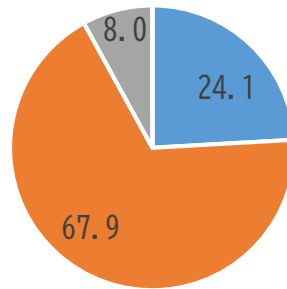
2 主食(ごはん・パン)の量について

A ごはんについて

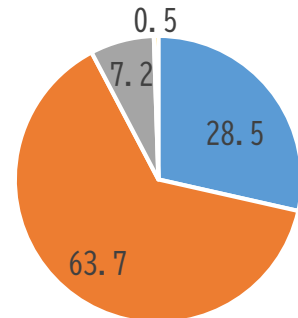
小学5年生



中学2年生



全体

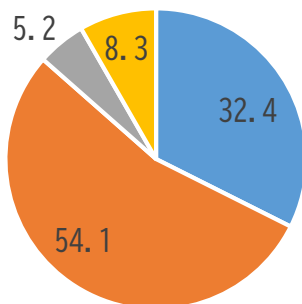


■多いと感じる ■ちょうどよい ■少ないと感じる ■無回答

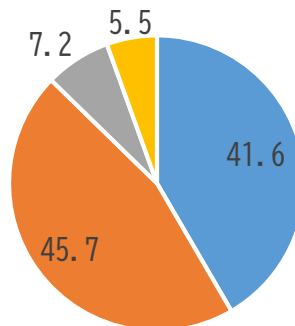
	小学5年生	中学2年生	全体
多いと感じる	126人(32.6%)	87人(24.1%)	213人(28.5%)
ちょうどよい	231人(59.8%)	245人(67.9%)	476人(63.7%)
少ないと感じる	25人(6.5%)	29人(8.0%)	54人(7.2%)
無回答	4人(1.0%)	0人(0%)	4人(0.5%)

B パンについて

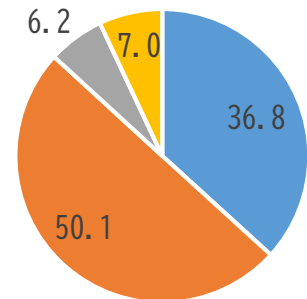
小学5年生



中学2年生



全体



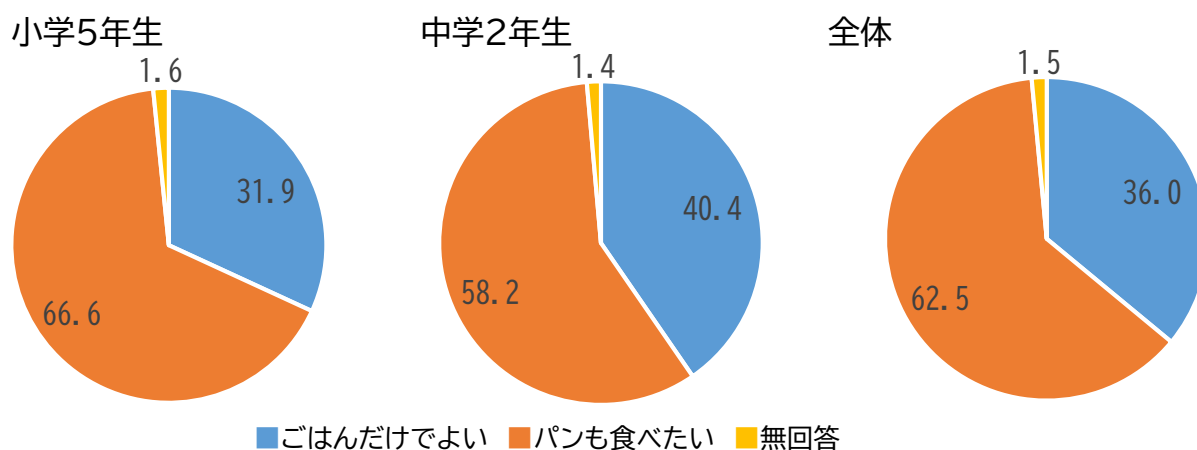
■多いと感じる ■ちょうどよい ■少ないと感じる ■無回答

	小学5年生	中学2年生	全体
多いと感じる	125人(32.4%)	150人(41.6%)	275人(36.8%)
ちょうどよい	209人(54.1%)	165人(45.7%)	374人(50.1%)
少ないと感じる	20人(5.2%)	26人(7.2%)	46人(6.2%)
無回答	32人(8.3%)	20人(5.5%)	52人(7.0%)

ごはん・パンの量については体格や運動量で個人差があるが、ごはんは全体で約64%がちょうどよいと回答し、パンについては約50%がちょうどよいと感じている。

次いで、それぞれ多いと感じており、特にパンについて多いと感じるとの回答がみられた。

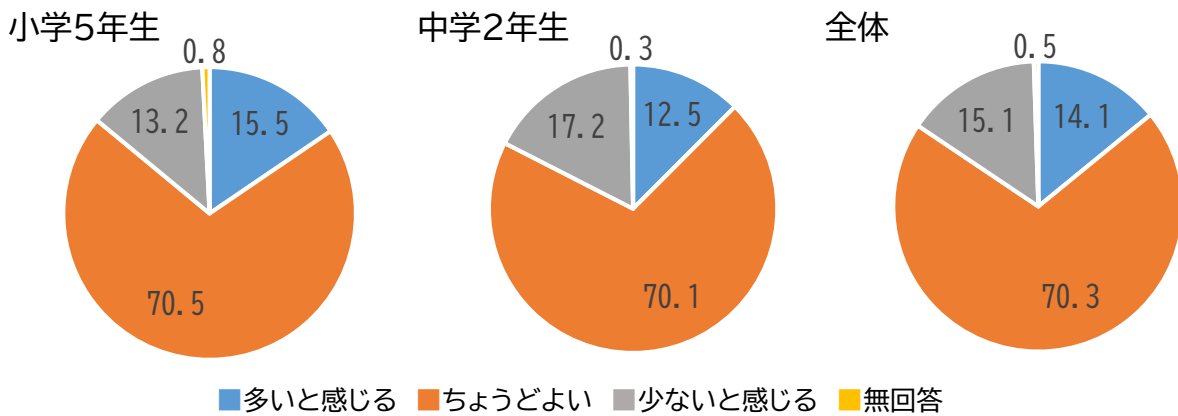
3 主食(ごはん・パン)の割合について



	小学5年生	中学2年生	全体
ごはんだけでよい	123人(31.9%)	146人(40.4%)	269人(36.0%)
パンも食べたい	257人(66.6%)	210人(58.2%)	467人(62.5%)
無回答	6人(1.6%)	5人(1.4%)	11人(1.5%)

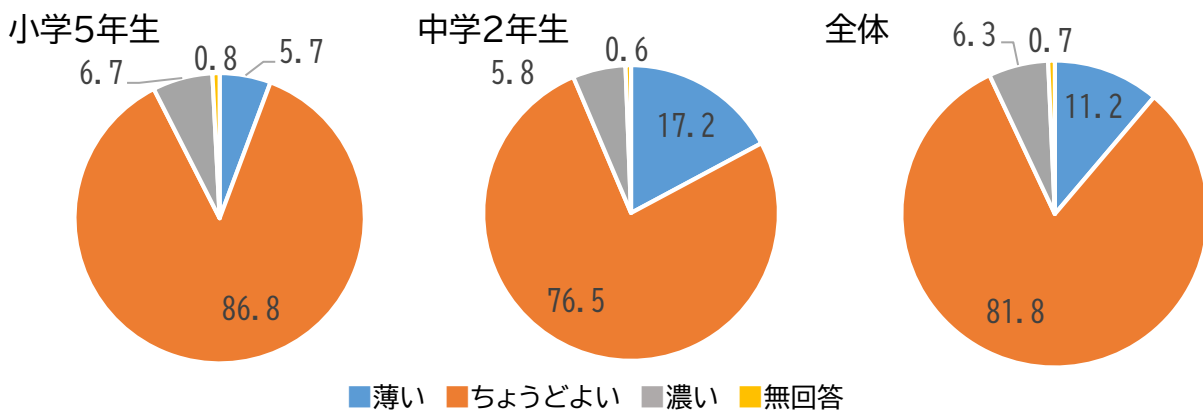
小学生では約67%、中学生は約58%がパンも食べたいと回答した。令和元年10月より、地場産物活用や伝統的な食文化の継承、ナトリウム摂取量の低減等の観点から、毎月19日(なると学校食育の日)を含む週の木曜日の主食をごはんに変更し、パンの回数が減っているが、今後もパンの提供は継続していくことが望ましい。

4 おかずの量について



	小学5年生	中学2年生	全体
多いと感じる	60人(15.5%)	45人(12.5%)	105人(14.1%)
ちょうどよい	272人(70.5%)	253人(70.1%)	525人(70.3%)
少ないと感じる	51人(13.2%)	62人(17.2%)	113人(15.1%)
無回答	3人(0.8%)	1人(0.3%)	4人(0.5%)

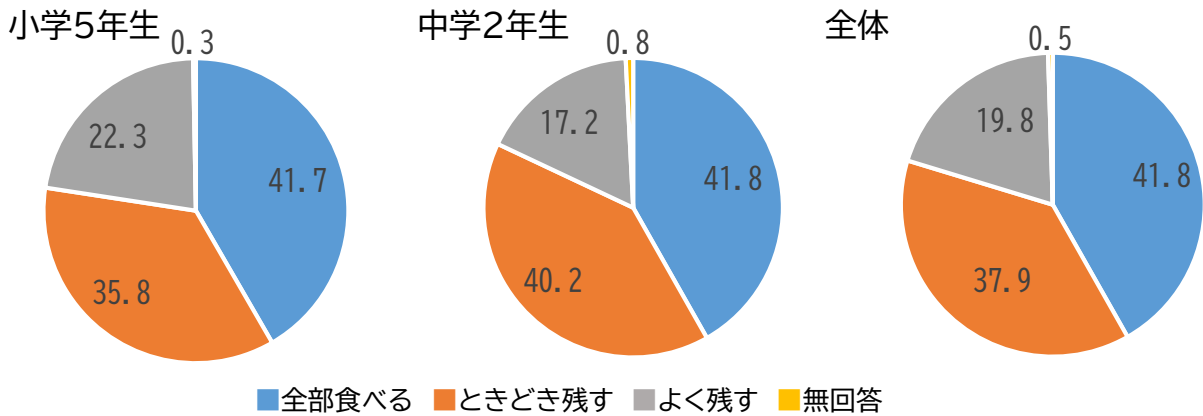
5 おかずの味付けについて



	小学5年生	中学2年生	全体
薄い	22人(5.7%)	62人(17.2%)	84人(11.2%)
ちょうどよい	335人(86.8%)	276人(76.5%)	611人(81.8%)
濃い	26人(6.7%)	21人(5.8%)	47人(6.3%)
無回答	3人(0.8%)	2人(0.6%)	5人(0.7%)

おかずの量については、小学生・中学生ともに約70%がちょうどよいと回答しており、味付けについては、中学生において、約17%の生徒が薄いと回答であったが、小学生で約87%、中学生では約77%がちょうどよいとの回答であった。

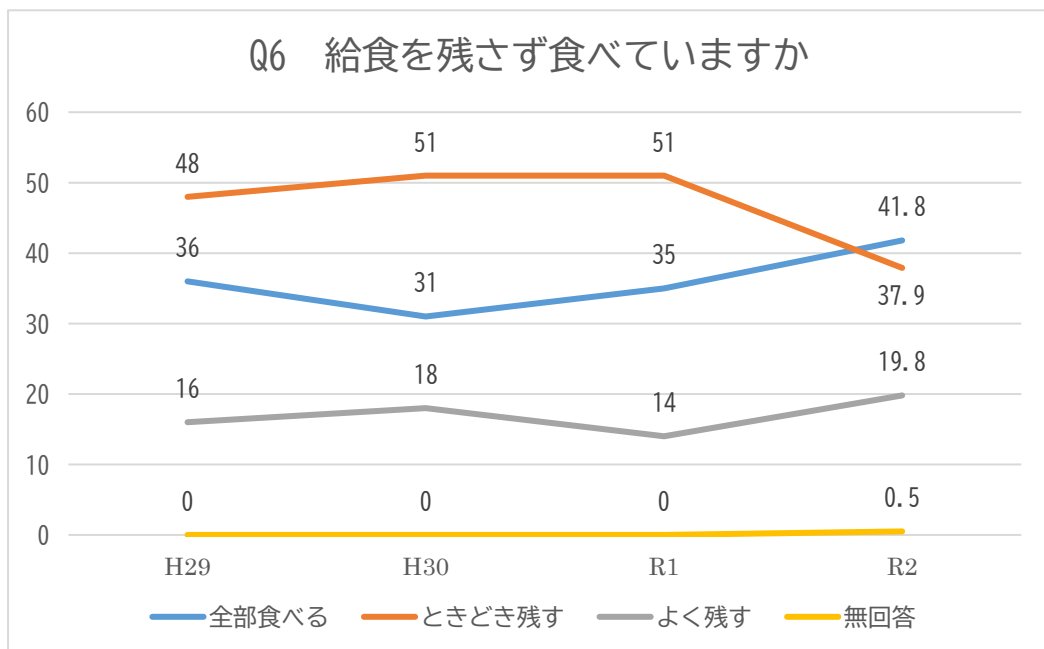
6 給食を残さず食べていますか。



	小学5年生	中学2年生	全体
全部食べる	161人(41.7%)	151人(41.8%)	312人(41.8%)
ときどき残す	138人(35.8%)	145人(40.2%)	283人(37.9%)
よく残す	86人(22.3%)	62人(17.2%)	148人(19.8%)
無回答	1人(0.3%)	3人(0.8%)	4人(0.5%)

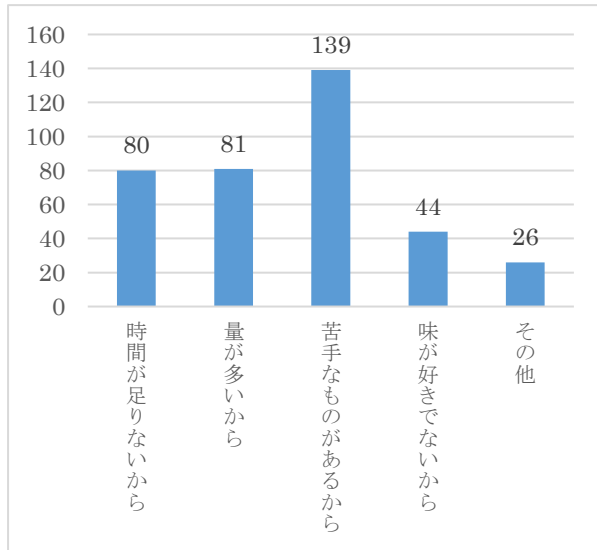
全体で約80%が、「全部食べる」か「ときどき残す」との回答であった。
 前回の結果と比較すると、全体で「ときどき残す」と回答した数が減少し、「全部食べる」と回答した数が増加した一方で、「よく残す」と回答した数についても増加した。

(参考)
 全体

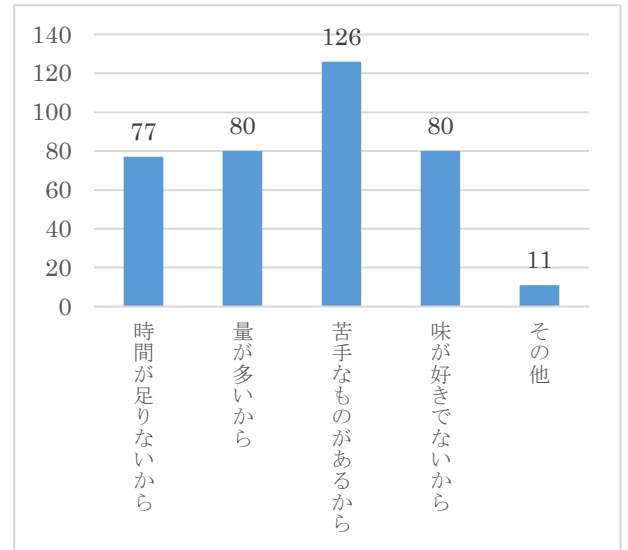


7 給食を残す理由は何ですか。(複数回答)

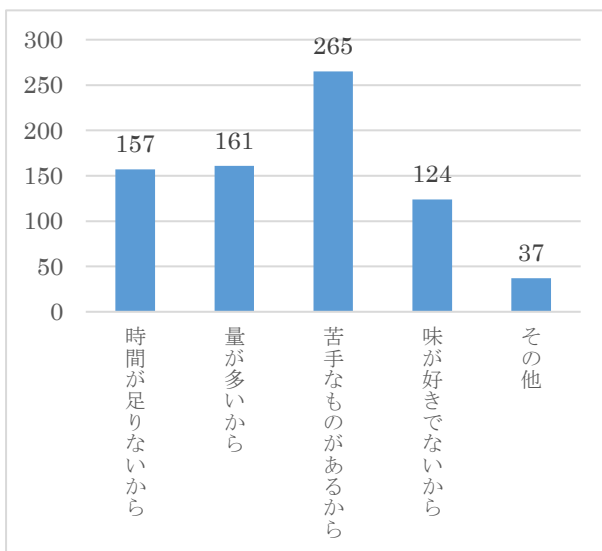
小学5年生



中学2年生



全体



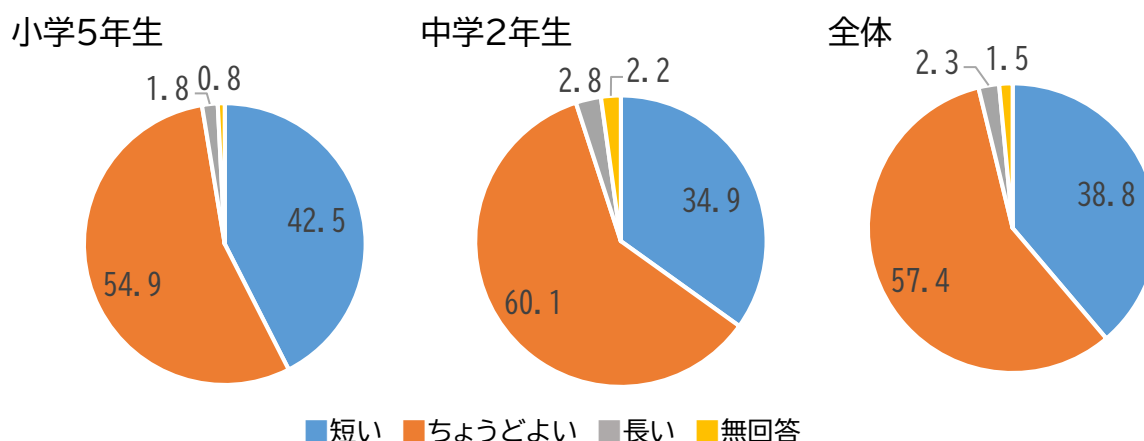
○その他の理由(全体より)

- ・食欲がない日があるから。
- ・食べ過ぎると後でお腹が痛くなるから。
- ・しゃべっているから。
- ・和食が嫌いだから。
- ・家で食べないものがでるから。
- ・おかわりをしすぎたから など

	小学5年生	中学2年生	全体
時間が足りないから	80人(21.6%)	77人(20.6%)	157人(21.1%)
量が多いから	81人(21.9%)	80人(21.4%)	161人(21.6%)
苦手なものがあるから	139人(37.6%)	126人(33.7%)	265人(35.6%)
味が好きでないから	44人(11.9%)	80人(21.4%)	124人(16.7%)
その他	26人(7%)	11人(2.9%)	37人(5%)

給食を残す理由は、小・中学生ともに、「苦手なものがあるから」という理由が一番多かった。次いで、「量が多いから」や「時間が足りないから」と言う理由であり、中学生では「味が好きでないから」という理由も多かった。

8 給食を食べる時間の長さはどうですか。



	小学5年生	中学2年生	全体
短い	164人(42.5%)	126人(34.9%)	290人(38.8%)
ちょうどよい	212人(54.9%)	217人(60.1%)	429人(57.4%)
長い	7人(1.8%)	10人(2.8%)	17人(2.3%)
無回答	3人(0.8%)	8人(2.2%)	11人(1.5%)

給食時間の長さは、全体で約57%がちょうどよいと回答している。

9 給食の献立の中で、どんなおかずが好きですか。また、どんなおかずが苦手ですか。

		小学5年生		中学2年生	
好き	1位	カレー	121票	カレー	98票
	2位	鶏そぼろ丼	34票	ハンバーグ	30票
	3位	から揚げ	23票	から揚げ	29票
嫌い	1位	チリコンカン	27票	魚	42票
	2位	ししゃも	23票	チリコンカン	41票
	3位	魚	19票	トマト	18票

各上位3位

好きなおかずの1位は、小・中学生ともにカレーであった。苦手な献立は、チリコンカンや魚(ししゃも等)などで、豆や魚などの食材が苦手であるという意見が多く見られた。

好きな理由

カレー・・・具が多いから、野菜が多く食べやすいから、ごはんと合うから
から揚げ・・・味つけが良い、ジューシーでおいしいから

嫌いな理由

チリコンカン・・・豆が苦手だから、匂いや味が強すぎるから、食感が好みじゃないから
魚・・・骨が有り食べにくいから、もともと魚が苦手だから

10 給食では、徳島県の郷土料理や徳島県・鳴門市の地場産物を献立に取り入れています。知っている郷土料理や地元の食材を全て書き出してください。

・郷土料理

正答数	小学5年生	中学2年生
0個	328人(85.0%)	209人(57.9%)
1個	58人(15.0%)	132人(36.6%)
2個	0人(0.0%)	17人(4.7%)
3個	0人(0.0%)	3人(0.8%)

正答数0には、知らないと回答した人・徳島の郷土料理以外を回答した人が含まれます。

・郷土料理として回答された料理

そば米汁・ならえ・ふしめん汁・いももち・でこまわし・焼き餅

・郷土料理以外で回答された料理

徳島ラーメン・すだちジュース・赤飯・鯛めし・フッシュカツ・さつま汁 等

徳島の郷土料理について、小学生では85%、中学生でも約58%が「知らない」または郷土料理以外を回答していた。

郷土料理を1つでも正しく回答できていたのは、小学生は15%、中学生は42%であった。

郷土料理とご当地グルメを混同解釈しているように見受けられる結果となった。

※参考資料

ご当地グルメ



徳島ラーメン



フィッシュカツ



徳島バーガー

郷土料理



そば米汁



でこまわし



おでんぶ



ならえ



いももち

各地域で季節ごとにとれる産物をうまく利用して、その土地の風土に合った調理法で作られた料理のことを「郷土料理」と呼んでいる。

郷土料理は、歴史や文化、あるいは食生活とともに受け継がれていて、毎日の生活の中で食べられる料理と、お正月やお盆、結婚式など特別な日に食べられる料理がある。

・地元食材

正答数	小学5年生	中学2年生
0個	59人(15.3%)	47人(13.0%)
1個	80人(20.7%)	75人(20.8%)
2個	93人(24.1%)	74人(20.5%)
3個	75人(19.4%)	63人(17.5%)
4個	46人(11.9%)	59人(16.3%)
5個	17人(4.4%)	21人(5.8%)
6個	6人(1.6%)	13人(3.6%)
7個	2人(0.5%)	4人(1.1%)
8個	3人(0.8%)	3人(0.8%)
9個	1人(0.3%)	1人(0.3%)
10個	3人(0.8%)	1人(0.3%)
11個	1人(0.3%)	0人(0%)

・徳島県、鳴門市の地元食材として回答された食材

れんこん・さつまいも・すだち・らっきょう・にんじん・大根・わかめ・鯛・ブリ・ハモ
しらす・太刀魚・ふしめん・塩・桃・ゆず・なし・いちご・みかん 等

地元食材について、小学生では約15%、中学生では13%が正答数が0であった。
郷土料理と比べて、地元食材を知っている割合は多くなっており、日頃の食育の授業
や地場産品を活用した献立・資料提供による効果が表れていると考える。

11. 自由意見

小学5年生

- ・パンの回数を増やして欲しい。
- ・給食の時間を増やして欲しい。
- ・キャベツの芯を入れないで。
- ・パンが大きすぎる。
- ・ごはんの量が多い。
- ・スプーンとフォークの出し入れが難しい。
- ・野菜やきのこをもう少し小さく切って欲しい。
- ・給食は大好き。もっともっと作ってください。
- ・これからも残さず食べられる分は食べたい。

など

中学2年生

- ・コッパンよりロールパンの回数を増やして欲しい。
- ・もう少し味を濃くして欲しい。
- ・パンの日はジャムやクリームを付けて欲しい。
- ・パンがパサパサしている時がある。
- ・牛乳をお茶類に変えて欲しい。
- ・カレーピラフの香りはするが味が薄い。
- ・とっても美味しいので、違ったメニューも楽しみにしています。
- ・おかずの量が多い日と少ない日がある。
- ・苦手だったものが最近食べられるようになりました。

など

※その他、献立について

食べたいもの…揚げパン、ラーメン、キムチ、ミルク、デザート(ケーキ・ゼリー類)など
減らして欲しいもの…魚、豆類、牛乳、トマトなど。

○おわりに

本アンケートは、平成 29 年の鳴門市学校給食センター稼働後より毎年実施しており、4回目の実施となった。児童生徒の学校給食に対する考え等を広く把握できるよう、質問内容を作成し、例年同様の項目については比較することができた。

特に給食の量や味付けについては、おおむね児童生徒の満足を得ている結果となっている。

なお、今年度については、「郷土料理」や「地元食材」に関する理解度や認知度を把握することを目的として、アンケート項目を追加した。

結果として、徳島県の「郷土料理」に関しての理解が低いという事が分かり、これまで以上に地域の伝統的な食文化を伝える取り組みが必要となった。

さらに今年度は、学校給食センターの統合と調理・配送等業務の民間委託を開始したが、運営方法が変わったことによる意見等は見られなかった。

アンケートを通じて得られた児童生徒の率直な意見や感想を参考に、今後の給食運営に役立てていくとともに、今後も定期的にアンケート調査を実施することで、児童生徒の考え方や意見、給食献立の嗜好や摂取状況等の実態を把握し、より安全、安心でおいしい給食の提供ができるよう努めていきたい。